

令和5年度春の特別ラン展の開催について

西内良・上野明楽・高井敦雄・泉川康博・
田中宏昌・太田美咲・堀川大輔・佐藤祐輔・
大下正勝・富澤まり

2024年2月17日（土）から2月25日（日）まで開催された「春の特別ラン展」の概要について報告する。

テーマと展示概要

令和5年度の春の特別ラン展の展示テーマは、広島市をホームタウンとするサッカーチームであるサンフレッチェ広島の新スタジアム「エディオンピースウイング広島」が2024年2月に開業することから、(株)サンフレッチェ広島の協力の下「ランで祝う新サッカースタジアム」とした。装飾のメインカラーは球団のチームカラーである紫を選択し、メイン会場である大温室内に設けた大型装飾物や記念撮影コーナー、そして大温室全体を紫のモカラ‘ジャラクブルー’の切り花で装飾した。加えて、紫と類似関係にあるピンク、紫を引き立てる補色のイエロー、サンフレッチェ広島のロゴに含まれる色であるゴールドをサブカラーとし、これらの色または近似色を有するシンビジウム、オンシジウム、デンドロビウム、エピデンドルム、モカラ等の鉢植えおよび切り花を装飾に使用した。この度の装飾は明確なメインカラーを規定し、それを引き立てるためのサブカラーという関係性を強く意識し、これにそぐわない赤色やマゼンタ等の色の花材は少量のみピンポイントで使用した。

この度はサッカーチームとコラボレーションしたラン展であることから、サッカーボールに似た模様をもつゴキブリであるドミノローチの生体や、チームカラーである紫色の体色をもつ昆虫の標本、そしてランの花に擬態するハナカマキリの生体を広島市森林公園こんちゅう館から借用し展示した。

また、近年の春の特別ラン展は空中デッキと呼ぶスロープにて毎年小テーマを決め、来園者にランを一鉢ごとにじっくり鑑賞いただくとともにランの生体的知見や園芸的知見を紹介する

コーナーを設けている。今回は「テーマ展示：サッカー大国のラン」として17属、31種、36株の展示を行った。その内容は別稿で詳述する。

これ以降、本稿ではメイン会場である大温室内の各エリアの展示について述べる。

大温室正面入り口およびロビー

大温室サンフレッチェ広島のイメージカラーである紫色の布を背景および遮光の目的で窓に張り、広島市森林公園こんちゅう館より借用した紫色の名前や色の昆虫の標本を展示した（写真1、2）。

正面池内とその周辺

池内で新スタジアムのフィールドおよび観客席を再現した展示を行った（写真3）。フィールドには選手に見立てたランの小鉢を、観客席はサポーターで満員というイメージで紫のモカラの一輪挿しをふんだんに使用して装飾した。スタジアムの白い屋根部分は白花のコチョウランで再現した。また、切り花の一輪挿しで新スタジアム開場祝いの花火を表現し、園内で調達した樹木の剪定枝に小型で薄桃色のデンドロビウム‘ファンシーエンジェル’‘リセ’を取り付け春の到来を期待させる桜を表現した装飾を作成した。池外では、大温室案内板の隣に新スタジアム外観パース図を大型プリンターで大判印刷して掲示し、ランの切り花と観葉植物の切り葉で装飾した（写真4）。また、「SANFRECCE」ロゴを一輪挿しで表現した（写真5）。

熱帯スイレン温室連絡口

サンフレッチェ広島から、同チームの歴史の中で印象的なシーンを印刷した横断幕を借用して掲示し、その周辺をモカラやデンファレの一輪挿しによる壁画やシンビジウム及びデンドロビウムの鉢植えで装飾した（写真6）。

記念撮影コーナー

大温室北口に記念撮影コーナーを設けた。城壁が高くなっているエリアは、観客席を臨む選手の気持ちを体験するコーナーを設けた（写真7）。また、その東隣には、チームのマスコットキャラクターであるサンチェとともに記念撮影できるコーナーを設けた（写真8）。いずれの

コーナーもサンフレッチェ広島より画像および横断幕を借用して展示に使用し、紫モカラの切り花をふんだんに用いるとともに、イエローのオンシジウム類、ゴールドに近似したオレンジ色のエピデンドルムで装飾した。

愛好団体等による展示

広島県、山口県のランの愛好5団体（広島洋蘭倶楽部、日本・蘭協会西中国支部、岩国蘭友会、徳山蘭友会、柳井オーキッド）に出品を依頼したところ、あわせて49名、計318点の出品があった。これらを対象として洋ラン品評会を実施し、グランプリ1点、準グランプリ2点を含む合計12作品を表彰した。グランプリ、準グランプリに関しては熱帯スイレン温室連絡路口に表彰台を設け、展示した。その他の受賞作品はそれぞれの団体の展示棚で、受賞を示す札を添付して展示した。その他広島県花卉園芸農業協同組合洋ラン部会による57点からなる展示コーナーも設けた。

第41回広島県ラン展審査会

広島県ラン展審査会（広島県花卉園芸農業協同組合洋ラン部会主催）を昨年引き続き、春の特別ラン展の共催事業として大温室ロビーで開催した。今回は17点の出品があり、広島市長賞など8点を選出した。なお、春の特別ラン展最終日には、広島市長賞などを含む全ての展示株を同部会の責任のもとに販売した。

展示温室

愛好団体によるランの販売を行うとともに、来園者をメイン会場（大温室）から離れた展示温室に誘導する目的で、土日祝先着200名、平日同100名を対象に大温室各所に向けたランに関するクイズに答えてもらう「らんらんクイズラリー」を実施し、その参加者へ景品を渡すコーナーを設けた。このほか、来園者のランに関する相談を受け付ける「洋ランクリニック」も設け、主に購入時の相談に乗るとともに、ラン栽培の解説、実演を行う「洋ラン実演会」を会期初日を除く土日祝4日間開催した（クリニック、実演会ともに広島洋蘭倶楽部の協力による）。

その他関連イベント

サンフレッチェ広島とのコラボレーションとして、展示資料館1階ロビーにて「復興の歴史とサッカー」と題したパネル展示と、ユニフォームや優勝サインボールの展示を行った。2月18日（日）には、サンフレッチェ広島OBで現在は同アンバサダーである森崎浩司氏を招き、トークショーおよび未就学児を対象とする「親子ふれあいサッカー体験」を開催した。また、園内各所でランの花すくいやランの小さなフラワーアレンジメント講習会を開催した。

謝辞

本展示会を開催するにあたり、備品および肖像権借用許可やスケジュール調整等、多大な御協力を賜りました（株）サンフレッチェ広島様に心より感謝申し上げます。



写真1 紫色の名前や色の昆虫の標本



写真2 紫色の名前や色の昆虫の写真



写真 3 新スタジアムのフィールドおよび観客席を再現した展示



写真 4 新スタジアム外観パース図とその周辺



写真 5 一輪挿しによる「SANFRECCE」ロゴ



写真 6 サンフレッチェ広島の横断幕



写真 7 観客席を臨む選手の気持ちを体験するコーナー



写真 8 サンチェとともに記念撮影できるコーナー